

てくてく図書館だより

2018年1月号

寒くなると、本のページをめくる手が冷たく感じる時がありますよね。内容のおもしろさに引き込まれて、どんどん続きを読みたい、でも、寒いし…こんな気持ちも、冬ならではの。暖かい部屋で読む、ぽかぽかほっこりするような本を、ぜひ図書館で探してみてください！



♪ 店頭選書ツアーを開催しました ♪

生徒の皆さんが、実際に書店で本を見て、図書館に入りたいと思う本を選ぶ「店頭選書ツアー」を開催しました。今回は今井書店の吉成店に伺いました。

開催日の12月19日は、あいにくの雨になりましたが、参加した1・2年生4人が、思い思いの本を選びました。



図書委員長から、ひとこと！

今回は図書館に置かれてなかった最新の話題作や、人気な著者のマイナーな作品、自分で買うには少し高いシリーズ作品を選びました。アニメ、ドラマ化した小説など、聞いたことがある本が多く並びます。

あまり本を読まない方も、知っている本から読んでみてください。お気に入りの本が見つかるかもしれません。

今回は『りゅうおうのおしごと！』『十二大戦 vs 十二大戦』といった小説のほか、人物デッサンの本なども選ばれました。長谷文庫として順次並んでいきますので、ぜひ読みに来てください。





ふらっと Library 図書館で新しいことを見つけよう！

今回は「図書委員が選ぶ「私のおススメの1冊 この本このフレーズ」の第2弾！ひとりひとりが手に取った本もさまざまなら、お気に入りのフレーズもさまざまですね♪

NO
IMAGE

「みんなで、夜歩く。たったそれだけのなのにね。どうして、それだけのことがこんなに特別なんだろうね」『夜のピクニック』（恩田陸）より

この小説を最後まで読んだ後に、本当に理解することができたからです。

NO
IMAGE

「みんながお前を否定するなら、おれがお前を肯定する！」『デート・ア・ライブ』（橘公司）より

みんなから嫌われてても必ず味方はいるのが伝わったから。

NO
IMAGE

「お前なら、絶対優勝できるから」『切なさの距離～友達以上、恋人未満～』（西那）より

私も長距離をやっていて、試合の時、自分が走る時にこの言葉を言われたら自信がつくし、頑張ろうと思えるから。

NO
IMAGE

「偶然は愛のようにひとを束縛する」『狂骨の夢』（京極夏彦）より

いい言葉だと思ったから。

NO
IMAGE

「やらずに後悔していることを今日から始める」『夢をかなえるゾウ』（水野敬也）より

“今まで無理ならこれからも無理。だから変えるならそれは「今」しかない”というメッセージが心に残ったからです。

NO
IMAGE

「彼女の名前は知っている。小佐内（おさない） ゆき。小市民を目指すと言い張っている、嘘の多い女の子だ」小市民シリーズ（『春期限定イチゴタルト事件』など）（米澤穂信）より

この小アクマ系女子、小佐内さんが、物語上、重要な役割を持っているため。このシリーズは「推理小説」の分野になるのですが、青春や学校生活の描写もあって、とっつきやすい作品だと思います。

NO IMAGE

「きれいなちょうちょになりました」『はらぺこあおむし』（エリック・カール）より

希望を与えるフレーズになっている。